

四万十高校「WZF若武者絶対増やす実行委員会」の取り組み

1 学校名 高知県立四万十高等学校

2 実践の概要

(1) はじめに

四万十高校は「最後の清流」と言われる四万十川の中流域にあり、豊かな自然に囲まれた学校です。県下で唯一の自然環境コースがあり、自然環境保全に向けて自ら考え行動できることを目標に、体験を重視した学習活動をしています。

WZF若武者絶対増やす実行委員会、通称「若武者」は、2006年、当時の2年生3名が立ち上げた四万十高校生徒自主活動組織の1つです。私たちの言う若武者とは「環境問題について考え、解決に向けて取り組む人」のことであり、私たちはこの若武者を絶対に増やしたいと考えています。

(2) 活動の目標

ア 小・中・高校生や地域住民をはじめ、四万十川に興味関心のある人々に、体験活動を通して四万十川の自然環境の現状を知ってもらう。

イ 環境保全活動や意見交換を行い、環境問題を少しでも解決する人材（＝若武者）を育てる。

(3) 実践内容

ア 環境問題を考える若武者プロジェクト

毎年8月に、四万十川の環境問題を考え解決する人材の育成を目指した啓発イベント「環境問題を考える若武者プロジェクト」を自分たちで企画し、実施しています。内容の企画から、宿泊、バスの手配まで、自分たちで計画して運営するのは大変ですが、やりがいがあります。

年度	イベントタイトル	主な内容
2006	最後の清流四万十川を最初の清流に	パネルディスカッション・プレゼンテーション・地場産市
2007	Camping 四万十！ Jumping 青春！	ネイチャーゲーム・カヌー体験・おしゃべり祭
2008	遊んで学ぼう！ 森・川・海	間伐体験・伝統漁法体験・ボダイボード
2009	第10回全国高校生自然環境サミット	森林フィールドワーク・シュノーケリング・磯の生物観察
2010	Enjoy 四万十 ぼくらの夏はここから始まる・・・	森林フィールドワーク・水生生物観察・共有会

2009年には第10回全国高校生自然環境サミットを実施しました。全国の環境活動に取り組む高校生と地元の中학생、合わせて59名が参加し、2泊3日のフィールドワークで森・川・海のつながりを体感してもらいました。夜の交流会ではフィールドワークで学んだことを踏まえ、それぞれの学校がある地域の環境をどうすればよいか話し合ってもらいました。イベントの規模が大きくて若武者メンバーだけでは運営できず、最終的に全校生徒121名に協力してもらいました。夏休み返上での運営でしたが、みんながそれぞれの役割で力を合わせたことで有意義なサミットになり、参加者にも満足してもらうことができました。地場産市や郷土料理で地域の方々にも協力していただき、四万十ならではの味に参加者にも喜んでもらえました。地域の方々との絆も深まったように思います。



今年 2010 年には「Enjoy 四万十～ぼくらの夏はここから始まる～」を実施しました。私たち 1 年生にとって初めてのイベントでした。四万十高校生のほかに、一般の方や大学生も参加してくれました。市の又原生林登山では、森川海のつながりと人工林と天然林のそれぞれの良さを知ってもらいました。グループワークでは、「実際に登山をして気づいたことがたくさんあった」という意見があり、体験の大切さがわかりました。交流会では、地元に住んでいる方に講師として来ていただき、昔の自然について教えていただきました。講師の方から「昔、山だった所が道路になったり、マンションになったりして自然が壊されていくのは寂しい」という話があり、開発などは自然のことを考えて行わなければならないと感じました。川では水生昆虫を観察し、スコア値を調べて、川の水質を判定しました。初めは「川には入りたくない」と言っていた人が、実際にやってみて「意外と楽しい」と言ってくれたことがすごく嬉しかったです。清流度調査では川の透視度を測り、川が綺麗かどうか知ることができました。調査を続けていないと川の変化にも気づくことができないので、これからも調査を続けていくことが大切だと思います。共有会では、今回の活動で学んだことを話し合っ、これから自然を守るために実行したいことを書きました。高校生では出てこないような意見がたくさんあり、とても勉強になりました。



イ 地域でのボランティア活動

若武者では、地域の清掃活動等も企画し実施しています。昨年度はバイク通学をしている実行委員長の西川さんから通学路のカーブミラーを磨きたいという提案があり、学校周辺のカーブミラーを磨きました。地域の方々にも呼びかけたところ、四万十高校生と併せて 20 名ほどが参加してくれ、町内のカーブミラーを磨くことができました。地域の皆さんに激励の言葉をいただき、やりがいのある活動になりました。

(4) 成果と課題

自分たちで企画して、そして実行する。それは簡単そうにみえて実は難しいということがよく分かりました。大変なこともあったけれど、イベントが終わったときには達成感がありました。四万十高校には若武者の他にいくつもの生徒自主活動組織ができ、森林モニタリングや地域活性化に取り組むなど、それぞれ活動を行っています。私たちもこの活動を続け、これからもいろいろなイベントを企画して若武者を増やしていきたいです。

Enjoy 四万十 僕らの夏は、ここから始まる…

実施報告書

WZF 若武者絶対増やす実行委員会
四万十高校1年2H 橋本早織

1. 目的

- ①森川海のつながりを知ってもらう。
- ②四万十川周辺の環境を考え行動する「若武者」になってもらう。
- ③自然と地域のつながりを知ってもらう。

2. 実施日時

平成22年8月21日(土) 9:00~15:00

3. 活動場所

森フィールドワーク・学習会：市ノ又風景林(四万十町大正)

川フィールドワーク・交流会：田野々大橋下(四万十町大正)

4. 参加者

高知大学生(5名)、一般(2名)、四万十高校(生徒10名・教員2名) 合計19名

5. 当日の行動表

時間	活動内容	場所	大学生	一般 (トヨタ)	ガイド係	水生生物係	救護係	配車係	食事係
5:00		大正駅出発	バスで来る		バスで				
7:00		高知駅出発			高知へ				
8:00		バス			迎えに行く				
9:00		大正駅	大正駅着	道の駅で待機	大正駅にてバスに乗り出発				BBQ 準備
9:30	開会式 森と川と海 についての学習会	市ノ又原生林	開会式 森と川と海についての学習会						
10:00	市ノ又登山		登山(4グループ)						
11:00	グループワーク		グループワーク 「森川海のつながりについて」「人工林と天然林のそれぞれの良さ」						川に移動
11:30	梶原川へ移動	バス	田野々大橋下へ移動						BBQ準備
12:00	昼食・交流会	田野々大橋下	昼食・講師に囲んで地域の現状等についてお話いただく						
13:00	水生生物の観察		水生生物の観察・スコア値計算・清流度調査 共有会 これから自分たちが取り組んでいくこと						BBQ 片付け
15:00	閉会式		閉会式						
			帰り バス	道の駅で解散	バスで高 知まで送 る	片付け			

6. 活動報告

① 活動準備

西川香穂実行委員長を中心にイベントの準備を進めてきました。夏休みに学校に集まって、遅いときには夜の9時まで作業をしました。みんなで頑張って準備したので、イベントが終わったときには達成感がありました。



② イベント当日

(1) 市の又原生林登山

森川海のつながりと人工林と天然林のそれぞれの良さについて知ってもらいたくて、4班に分かれて登ってもらいました。山に登るのは疲れたけれど、山の学習だけでなくいろいろな話ができ、仲良くなれてよかったです。参加者の方に四万十の山の現状を知ってもらうことができました。



(2) グループワーク

登山して学んだことを話し合い、意見を紙にまとめ発表しました。「実際に登山をして気づいたことがたくさんあったので体験することは大事」という意見がありました。私も、実際に体験することの大切さを気づくことができました。



(3) 共有会

昔の自然について地元に住んでいる方に講師として来ていただき、教えていただきました。講師の先生が「昔、山だった所が道路になったり、マンションになったりして自然が壊されていくのは寂しい」と言っていました。自然のことについてよく考えて行動しないといけないなと感じました。



(4) 水生生物の観察

川にいる水生昆虫を捕まえて観察しスコア値を調べて、川の水質を知ることができました。初めは「川には入りたくない」と言っていた人が、実際にやってみて「意外と楽しい」と言ってくれたことが凄く嬉しかったです。



(5) 清流度調査

川の流れの速さや川の透明度を測り、川が綺麗か知ることが出来ました。この調査で川が綺麗なことが分かったので良かったです。調査を続けていないと川の変化にも気づくことができないので、これからも調査を続けていくことが大切だと思いました。



(5) 共有会

今回の活動で学んだことを話し合っ、模用紙にこれから自然を守るためにしたいことを書きました。高校生では出てこないような事がたくさん書かれていたのでとても勉強になりました。



②参加者の声

(1) 高知大生

「山に登ったりすることは、大人になったら仕事があるので時間がなくて行けないと思うので、体験できて良かったです。大人や高校生たちの貴重な意見が聞いてよかったです。また、こういう活動があったら参加したいです。」



(2) 一般（トヨタ自動車社員）

「水生生物を捕ったりすることは大人になっても中々出来るものじゃないから貴重な体験が出来て良かったです。大人になると大学生や高校生と交流することはまず無いから若い人の意見が聞いて良かった。機会があればまた来たいです。」

(3) 四万十高生

「イベントの準備が大変だったけど、大人や大学生と交流が出来て良かったです。また、大学生や大人の意見が聞いて勉強になりました。このイベントをやって良かったです。」

